

市長の深い話

谷が



深谷市長 小島 進

元気、深谷

7月28日から8月20日にかけてインターハイ(全国高等学校総合体育大会)が開催されました。インターハイは高校スポーツ界最大の祭典で、市内の高校からは深谷高校の男子バレーボール部、深谷商業高校の陸上部、深谷第一高校の女子弓道部、正智深谷高校のサッカー部・男子バスケットボール部・女子卓球部が見事出場を果たしました。

人口14万の千人ほどの深谷から、これほど多くの部活動がインターハイに出場するということには、驚きと喜びが溢れています。深谷が元気な証です。

もうひとつ、深谷の元気の象徴といえば「ふっかちゃん」です。ゆるキャラランプリで平成23年に全国6位、昨年は全国5位に輝きました。今では深谷にとつて欠かせない存在となっています。今年の本気でゆるキャラランプリ全国1位を目指しています。全国1位を獲得することにより、市の経済や市政運営、さらには市のPRに大きな効果が期待できます。実際に、これまでに全国1位となったゆるキャラは、その関連商品などにより、相当額の経済効果をもたらしています。

今回、「F.Y.G.P.」(ふっかちゃんゆるキャラランプリ)ぶろぐ(こ)推進本部』を立ち上げ、全国1位獲得に向けたさまざまな作戦を練っています。皆さんもぜひ協力をお願いします。このように、深谷は多くの元気に満ちあふれています。今後市民の皆さんと協働のまちづくりを進めながら、より一層深谷が元気になるような施策を展開していきたいと考えています。

医師育成奨学生に28人応募

市では、市内の医師確保に向けて医師を目指す高校3年生など(高校既卒生を含む)を対象に、平成26年度からの深谷市医師育成奨学生(定員2人)を募集したところ、28人の応募がありました。

7月30日には1次選考が実施され、個別学力検査、論文および書類審査が行われました。

今後は、1次選考の合格者に対して、10月上旬に2次審査が行われ、最終合格者および補欠者の発表は、10月下旬を予定しています。問い合わせ 企画課 (☎574-8006)



市の情報をテレ玉で!

地デジ3チャンネル

暮らしがもっと楽しく! もっと便利に!



市では、テレ玉(地上デジタル放送の3チャンネル)のデータ放送を活用し、身近なテレビを通して、防災行政無線で放送した内容や旬なイベント情報などを発信しています。

ぜひご覧ください。

データ放送を視聴するには

- 1 テレ玉を視聴する。
 - 2 リモコンの【d】ボタンを押す。
 - 3 テレ玉のデータ放送画面が開く。
 - 4 画面左下の一覧から「深谷市からのお知らせ」を選び、リモコンの【決定】ボタンを押す。
- 問い合わせ 秘書課 (☎574-6631)

ありがとうの手紙



優秀賞
中学生の部
一緒に走ってくれた三人へ

岡部中学校1年(現2年) 金子 未佳さん
私は小六のマラソン大会の時にみんながゴールした後の校庭を一人で走っていました。ゴールが遠く感じて泣きそうな時に私のすぐ横で「頑張れ。」という声が聞こえて、見ると友達と一緒に走ってくれていました。途中から二人の友達も走ってくれて三人はずっと私を励ましてくれました。「そこを曲がったらゴールだ。頑張れ。」という言葉に勇気と元気をもらって私はゴールまで思いきり走れました。私は三人のおかげで『最高のビリ』になりました。ありがとう。

みんなの声 BOX

Q 介護に関する悩みや相談は、どこにしたらよいですか?

A 長寿福祉課、各総合支所の市民生活課、市内4か所の地域包括支援センターにご相談ください。

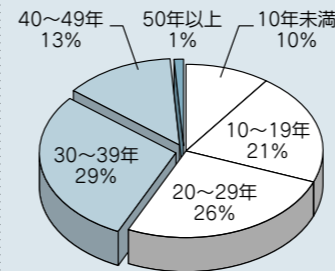
地域包括支援センターは介護に関する専門的な相談先です。

- ・FOMA・なごみ (☎598-2552)
- ・はなみずき (☎551-1113)
- ・深谷市社会福祉協議会(☎573-6869)
- ・ふじさわ苑 (☎574-1237)

問い合わせ 長寿福祉課 (☎574-8544)、岡部市民生活課 (☎585-2214)、川本市民生活課 (☎583-2532)、花園市民生活課 (☎584-1123)

市内公共施設の建築後の経過年数

【図1】



市が保有する公共施設の建築後の経過年数を延床面積の割合で示したグラフです。全体(37.3万㎡)のうち、約4割が建築から30年以上経過しており、今後同時期に建て替えや改修などが必要になると見込まれます。

これまで、高度経済成長に伴う人口増加や、さまざまな住民ニーズに対応するため、各種施設の整備を進めてきました。そして今、その多くが老朽化を迎え(図1参照)、多額の改修費や建て替え費が必要となりますが、その費用が今後の市の財政運営にとって大きな負担となることが現実視されています。必要とされる施設は、時代の変化とともに変わります。また、合併に伴い、重複した施設が数多く存在します。

このシリーズでは、市の公共施設を取り巻く課題、そしてその解決に向けた取り組みについて、お知らせしていきます。

問い合わせ 企画課 (☎574-8006)

NEW シリーズ
考えよう
公共施設のこと①

